

■ 2009.07.31 インドへ ■

成田空港 11:30 発シンガポール航空 SQ637 便。機内で映画「GOEMON」を観る。機内食は相変わらず美味。シンガポールスリングを美味しくいただく。

17:40 (日本時間 18:40) シンガポール着。

シンガポール 20:05 発、バンガロール 21:50 着 (日本時間 25:50)。

バンガロール国際空港は新しい場所に移転していた。

バンガロール・インターナショナルホテル泊。晩酌もせずバタンキュー。



【シンガポール航空 SQ637】



【シンガポールスリング】



【Bangalore International Hotel】

■ 2009.08.01 バンガロール ■

現地係員がホテルに迎えに来てくれ、市場へ。ここでプージャのための品物を購入。

途中日本円を両替。現在、1ルピーは約2円。アガ스티ア館を訪問。グルジのマニヴァサカン氏と2年ぶりの再会。未購入の用品を氏とともに買いに行く。館にもどって、二つのプージャをしていただく。知人の「アガ스티アの葉」の検索も行ったところ、ものの10分で出てきたのには驚いた。夕食は、ホテルのレストラン。タンドリーチキンとビリヤニ。ビール2本。



【花屋さん】



【雑貨屋さん】



【タンドリーチキン】

■ 2009.08.02 バンガロール～カーンチープラム ■

朝6:00発の列車でチェンナイへ。時刻通りに発車してびっくり (インドでは珍しい...).

到着予定の11時より20分早く着いたのも、こりやまた珍しい。現地係員の手配車で、カーンチープラムへ。GRTレジデンス・ホテルにチェックイン。部屋の無線LANがID&パスワードなしで繋がったのに、またびっくり。だから、こうしてブログ更新している訳でございます。夕方、チトラグプタのお寺と、エーカンバレーシュワラ寺院 (シヴァのお寺) にて、アビシェンガムとアーチャナを行いました。



【チトラグプタ】



【エーカンバレーシュワラ寺院】



【ビリヤニ&カレー】

■ 2009.08.03 ティルパティ ■

朝、持参した湯沸かし器でコーヒーを入れる。8時ゆっくり朝食をいただく。10時ホテル出発。カンチープラム最大の寺院、エーカンバレーシュワラ寺院観光。

その後、ティルパティへ向かう。距離105キロ。車で2時間半、午後1時頃到着。

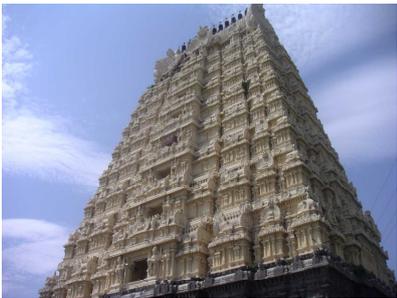
GRT レジデンシー・ホテルにチェックイン。3時、カラハステイ寺院へ。4時到着。

シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。

7時ホテル帰着。このホテルにも無線LANあり。1時間120ルピー（240円）と24時間400ルピー（800円）等の料金設定があった。明日早朝出発のため今回は見送り。

夕食はビュッフェ形式のため、またもルームサービスで済ませることに。

チキンカレー190ルピー（380円）とビール200ルピー（400円）



【カラハステイ寺院】



【牛は神聖な動物】



【毎日カレー&麦酒】

■ 2009.08.04 ティルバナマライ ■

朝食後、ホテルを8時出発。12時頃到着。ここには聖人のアシュラムがたくさんある。

ラマナ・マハリシ、ヨーギ・ラム・シュラクマール、セシャスリ・マハリシの3つのアシュラムを見学。1時半。フォーチュン・ケンセス・ホテルにチェックイン。

5時、ティルバナマライ寺院（古代アルナチャレスワラ寺院）。シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。終了後、聖アルナチャラ山をギリバラム（山を回る）。周囲16キロ。

これを通常、裸足で歩く。所要4時間以上。とてもじゃないが時間も体力も足りないなので、車でご勘弁。満月の夜に行くと最高の御利益があるという。

残念ながら満月は、明日の夜。一日早かった。

ホテルのレストランに酒類はなし。寺院でいただいたご飯を食べ、就寝。



【ラマナ・マハリシ】



【ヨーギ・ラム・シュラクマール】



【セシャスリ・マハリシ】



【ティルバナマライ寺院】



【寺院のお猿さん】



【寺院の象さん】

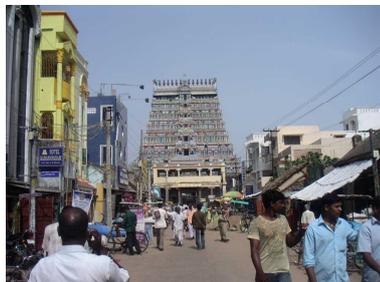
■ 2009.08.05 チダンバラン&ティルベンガドゥ&ティルカダイユル ■

6時ホテル出発。10時チダンバラン寺院着。シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。1時、ティルベンガドゥ寺院着。調べてみたら、ここに来るのは2回目。

確かに、見覚えのある場所もあった。シヴァ神と女神パールバティと水星にアビシェンガムを捧げる。3時、ティルカダイユル寺院のすぐ前のサダ・アビスジェガン・ホテル着。

かなりの田舎なので、無線LANはおろか、酒類など望むべくもない(涙…)

5時、ティルカダイユル寺院へ。(ここも2回目)。シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムを捧げる。ホテルはシャワー無し。一瞬がっかりしたが、大きな桶に湯をためて体にかけることができる。すぐに熱いお湯が出てきて快適至極。レストランは期待できそうもないので、日本から持参した「緑のたぬき」を食す。ああ、日本食が恋しい…。



【チダンバラン】



【ティルベンガドゥ】



【ティルカダイユル】



【緑のたぬき】



【サダアビスジェガンH】



【インドカレー定食】

■ 2009.08.06 ティルナラー&スリヤナコイル ■

7時ホテル出発、ティルナラー寺院へ。ここは3度目。シヴァ神と女神パールバティと土星にアビシェンガムを捧げる。ここに限ったことではないが、小銭をせびるお坊さんたちが多いのには閉口させられる。長い時間がかかったため、次のスリヤナコイル寺院はクローズしており、予約だけして、ティルナマテリー寺院へ。

ここは翌朝の予約をして、クンバコーナムに戻り、GRT パラダイス・ビーチ・リゾートホテルへチェックイン。部屋の広さにびっくり(バスルームだけで6畳はある)。

5時。再びスリヤナコイル寺院へ。9つの惑星にアビシェンガムとアーチャナを捧げる。

ホテルに戻り夕食。3日ぶりのビール(2本)に、感涙。



【ティルナラー寺院】



【スリヤナコイル寺院】



【3日ぶりのビール】

■ 2009.08.07 ティルナマテリー&アラングディ〜トリチー ■

6時ティルナマテリー寺院へ。シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。ホテルに戻り朝食。アラングディ寺院へ。

木星にアビシェンガムを、シヴァ神と女神パールバティとサブタリシ(アガスティア)にアビシェンガムとアーチャナを捧げる。

午後4時パバナサム寺院へ向かうが、ここではアビシェンガムができないということで断念。

ティルネルベリ近くに同名のお寺があるので、そちらでやることにする。

トリチーまで、約車で約4時間。8時過ぎにブリーズ・レジデンシー・ホテル着。

ビュッフェ形式の夕食が 309 ルピー (618 円)。ビールは 130 ルピー (260 円)。

インド料理をいろいろ味わえてこの値段は、かなりお得！！ 夜、ずっとつながらなかった i モードが、急につながった。すかさず、メール&ニュースチェック。でも、いったいどういう仕組みになってるんだろう??? ホテルに無線 LAN はあったが、契約が必要とのことで断念。



【ティルナマテリー寺院】



【アラングディ寺院】



【ビュッフェ形式の夕食】

■ 2009.08.08 ティルバナイカバル&ベダラニウム ■

7時、これまたビュッフェ形式の朝食。好きな物を自分で選べるのはいいな。

8 時チェックアウトして、ティルバナイカバル寺院へ。アビシェンガムは最高額 2500 ルピー (涙...)。実行は 11 時半からと言われ、ホテルに戻る。10 時半気を取り直して、再び同寺院へ向け出発。シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。ふう。

12 時終了後、ベダラニウム寺院へ。4 時到着。

6 時、シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。

7 時半、ベランカニの MGM リゾートホテル到着。

ベッドルームと、居間がわかれている豪華なホテル。快適至極。無線 LAN があればもっと良かった!? ルームサービスで、魚のフライ、チキン、エッグ・フライド・ライス、ビール。

全く冷えてないビールが出てきたので、「冷たいのが欲しい」と言ったら、「ならば、アイスキューブを入れてください」と、すぐ持ってきてくれた。結構おいしいんですね、これが。



【ティルバナイカバル寺院】



【ベダラニウム寺院】



【毎日ほぼ同メニュー】

■ 2009.08.09 ラーメシュワラム ■

8 時ホテル出発。12 時半ラーメシュワラムのロイヤル・パーク・ホテル到着。

部屋でゆっくり休憩。思えば、インドに来てからはこうしてゆっくり過ごすことのできない旅の日々を送ってきた。お寺参りを安易に考えていたが、大きな間違いだった。

多くの寺院は朝と夕方しか開いていないため、一日に回れるのは 2 カ所が限度。

1 カ所平均 1 時間半から 2 時間かかるので、かなりハードである。

(だいぶ慣れては来たけれど...)

午後 4 時、ラーマナータースワミ寺院へ。

シヴァ神と女神パールバティにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。

夜、ホテルのレストランで夕食。ここはベジタリアン・レストランだった。

肉や魚が食べられないのは、日本人にはちと辛い。

ベジタブル・フライド・ライスときのご料理をいただく。

当然酒類はおいてないので、部屋に戻り、ぬるいビールを飲む。

用心のため寺院からの帰路、買っておいてよかったあ。



【ラーマナータースワミ寺院】



【ラーメシュワラム・ビーチ】



【ベジタリアン・カレー】

■ 2009.08.10 ティルネルベリへ ■

8時ホテル出発、午後1時半、インド南端のティルネルベリ到着。今日はお寺参りはなし。部屋で過ごす。途中、ちょっとだけ街を散策。

夕食はバーで。ビール1本、ラム、ブランデー、ウイスキーを1杯ずつ飲んで220ルピー(440円)。つまみがついてこの値段はびっくり。

■ 2009.08.11 パパナサム&アンバサムドラム～バンガロール ■

8時ホテル出発。9時半パパナサム着。10時半、シヴァ神と女神パールバティとアガスティアにアビシェンガムとアーチャナを捧げる。11時半終了。

アンバサムドラム(ポティガイ・ヒル)へ。これで南インド巡礼の旅はすべて終了。

マドゥライ空港5時半到着。ここで、ドライバーのゴウクルさんとお別れ。

8月2日、チェンナイ到着から10日間運転主兼ガイドとして、たいへん御世話になった。

会話はすべて英語なので、うまく意思疎通できない時もあったが、目的を十二分に果たすことが出来たのは彼のおかげである。

バンガロール行きの飛行機は8時40分発。3時間の待ち時間は、ノート・パソコンに入れてきた映画を観て過ごす。

到着後、再びインターナショナル・ホテル。焼きそばとビールで晩酌。



【パパナサム寺院】



【アンバサムドラム寺院の滝】



【ゴウクルさん】

■ 2009.08.12 マンガロール ■



【昨夜の焼そば&麦酒】



【いつまで待ってもお湯は出ず】



【マトンとチキン】

朝8時半出発。3つのお寺を回る予定。でも一つ目のお寺「クツケ」についたのは午後3時。途中ひどい悪路だった。運転手さんは「車で待っているから一人で行ってきて」という。

「何…？ お寺参りの目的を聞いてないのか？？」。(嫌な予感…)

それでも、一緒に付いてきてもらい、交渉。なんとか目的を果たす。

この時点で、午後4時。あと2つ回れるのか？？ けっこう距離あるぞ…。

嫌な予感的中し、二つ目のお寺のクローズ時間、7時を過ぎても着かない。

「ここだ」と言われたのは、夜八時。お寺の夜景撮って何になる。仕方なくホテルに戻る。

ホテルのレストランに酒類はないし、いつまで待ってもお湯は出ないし…。

インド宿泊最終日にして、この不運。気を取り直し、街で酒屋を探し冷えたビールをゲット。ルームサービスでマトンとチキンの食事をとる。

■ 2009.08.13 帰国の途へ ■

朝 6 時ホテル出発。バンガロール、アガ스티ア館に到着したのは午後 3 時。

依頼した「アガ스티アの葉」を受け取る。

待ち時間に何気なくパソコンを開いてみたら、無線 LAN 検出。ログインできちゃった。

ここで、ノートパソコンに入れていた旅日記の下書きをアップロード。

その後、空港へ。午後 5 時到着。出発まで 6 時間もあったが、映画を観たりしているうちに、あつという間に過ぎる。チェックイン手続きで、ひと悶着。

手荷物のバッグが大きいから、機内預かりにせよという。

日本に帰ってから、羽田空港まで移動し秋田に行く飛行機に乗るまでの時間がないから、手荷物として持ち込みたいと説明。なかなか OK しないから、「来たときは手荷物 OK で、何で帰りはだめなんだ！！」と怒ったら、しぶしぶ通してくれた。

インドの空港では、ほとんど毎回、こういう思いをしている。

今回、新空港になってスムーズな手続きになったと喜んでいたので…。

11 時 3 分発シンガポール行きに搭乗。



【アガ스티ア・ハウス】

■ 2009.08.14 ぎりぎりセーフ ■

シンガポール発 9 時 40 分、成田到着 15 時 35 分のはずが、15 時 50 分着。

飛行機を降りてから必死に走る。18 時 5 分発の羽田行きリムジンに乗るためだ。

税関を抜けたとき、18 時 7 分。「ああだめだ、次の 35 分発になるのか」と思ったが、バスチケット売り場に直行。18 時 20 分発のチケットをゲット。

でも、「渋滞で現在 1 時間半くらいかかっています」とのこと。

「ゲッ！」バスの中で ANA に電話して「遅れるから、考慮してくれ」と頼む。

走っている間中、いつ着くか、ハラハラどきどき。気をもむばかり。

空港第二ビルにバスが着いたのは 19 時 42 分。走る、走る、走る。

チェックインカウンター到着は 9 時 45 分。秋田への便は 20 時ちょうど。

15 分前到着ならセーフと聞いていたので、なんとか間に合った！

インドで荷物を機内預かりにしていたら、絶対間に合わなかつたらろう。

午後 9 時秋田空港着。自家用車で自宅に戻る。あー、我が家はやっぱりよい。